



プレスリリース

2004年 2月 25日

東レ株式会社

BASF アクチエンゲゼルシャフト

マレーシアにおけるPBTベースレジン合弁会社設立について

東レ株式会社 (本社 :東京都中央区)とBASF (本社 :ドイツ・ルートヴィヒスハーフェン)は、このたび、エンジニアリングプラスチックのひとつであるPBT (ポリブチレンテレフタレート)ベースレジンを生産する合弁会社を折半出資でマレーシアに設立することで合意いたしました。

両社は今回の合意に基づき、マレーシア国パハン州クアantanに合弁会社「Toray BASF PBT Resin Sdn. Bhd.」(東レBASF PBTレジン社)を2004年3月に設立し(政府認可待ち)年産60千トンのPBTベースレジン生産設備の建設に本年半ばより着手いたします。設備投資額は約4千万米ドル(約45億円)で、2006年初めの稼動開始を目指します。新会社は東レによる最新鋭の重合技術を導入する一方で、主要原料であるBDO(1,4ブタンジオール)を同社に隣接した最新鋭の設備を有するBASF子会社から調達し、東レとBASFの両社向けに世界一の品質・コスト競争力を持つPBTベースレジンを供給いたします。新工場で生産されたPBTベースレジンには、両社がそれぞれの商標名(東レ:トレコン®、BASF:ウルトラデュアー®)で販売いたします。

PBT樹脂は、耐熱性、耐薬品性、耐候性、電気特性等に優れたポリエステル系熱可塑性樹脂で、電機・電子部品やOA機器用精密部品、自動車の電装部品等に使用されています。今後は自動車の内外装部品をはじめ、一般工業機器や繊維、フィルム等への用途拡大が期待されています。一方、自動車や電機・電子業界においては、中国・アセアン地域への生産シフトが加速していることから、アジア地域におけるPBT樹脂の需要は年率10%の高成長が見込まれています。両社は、このような需要拡大も見据えて、アジアをはじめとした世界市場におけるPBT樹脂事業の競争力強化と事業拡大を推進すべく、マレーシアにおける現地供給拠点の確立を決定いたしました。

東レは今回の新会社設立により、日本のPBT樹脂メーカーとして初めて、海外にPBT樹脂の重合拠点を設置することになります。これは、東レのPBT樹脂:トレコン®のグローバル・プレゼンスを強化すべく実施するものです。東レはマレーシアにおけるPBTベースレジンの自製化に伴い、同国ペナンのABS樹脂製造拠点であるTPM社(Toray Plastics Malaysia Sdn. Bhd.)にPBT部門を新設し、新会社のPBTベースレジンの世界の当社コンパウンド拠点に供給いたします。東レは現在、コンパウンド拠点の拡充についても精力的に進めており、全世界への最適な供給体制を構築することで、PBT樹脂事業において一層の競争力強化と事業拡大を図ってまいります。

BASFは、顧客から選ばれるパートナーとなることを目指しています。アジアにおけるPBTの生産は、アジアに対するBASFのコミットメントを示すものです。顧客のニーズにより迅速に対応し、より安定した製品供給を実現することにより、顧客に対するサービスを向上するための柔軟性と独立性を確保します。

以上

新会社概要

1. 会社名 :Toray BASF PBT Resin Sdn. Bhd.
2. 事業概要 :PBT (ポリブチレンテレフタレート)ベースレジンの製造
3. 所在地 :マレーシア国パハン州クアンタン
4. 設立 :2004年3月 (政府認可待ち)
5. 資本金 :5,200万マレーシア・リンギット(15億4千万円)
6. 出資比率 :東レ(株) 50%、BASF アクチエンゲゼルシャフト 50%
7. 生産能力 :60,000トン/年 (直連重設備 1系列)
8. 代表者 : (未定。但し 初代社長は東レ(株)出身者。2代目社長はBASFから派遣する。)
9. 社員数 約 50人
10. 操業開始 :2006年初め (予定)

以上

本件に関するお問合せ先

東レ株式会社

広報室広報課 (担当 :山縣)

TEL: 03-3245-5179

BASFジャパン株式会社

コーポレート・コミュニケーションズ (担当 :小池)

TEL: 03-3238-2376